

令和5年度
第1回朝日地域振興懇談会

会議録（概要）

期日：令和5年7月7日（金）

場所：朝日庁舎 大会議室

令和5年度 第1回 朝日地域振興懇談会会議録 (概要)

- 日 時 : 令和5年7月7日(金) 13時30分から15時50分まで
- 会 場 : 朝日庁舎 大会議室
- 出席委員 : 青澤豊一、難波金一、進藤 享、宮崎ちよ、伊藤ます子、大瀧博勝、渡部巖、菅原邦義、難波一之、難波志津香 計10名
- 欠席委員 : 宮崎 正、清野吉喜、今野めぐみ、伊藤比呂貴、伊藤由紀子
- 市側出席職員
 - 【庁舎】朝日庁舎支所長、総務企画課長、市民福祉課長、産業建設課長、総務企画課 上野地域まちづくり企画調整主査、渡部専門員
 - 【本所】企画部政策企画課 帯谷政策企画専門員、地域振興課 北山主任 計8名

一次 第一

1. 開 会

※ 委嘱状の交付は、名前の読み上げで代用

2. あいさつ

鶴見朝日庁舎支所長あいさつ

3. 会長・副会長の選出

4. 協 議

- (1) 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画の策定について
- (2) 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画の体系(案)について
- (3) 朝日地域振興計画の策定(見直し)について
- (4) 令和5年度 朝日庁舎の主要事業について
- (5) その他

5. その他

6. 閉 会

1. 開 会 13時30分 (進行 総務企画課長)

2. あいさつ

鶴見朝日庁舎支所長あいさつ

3. 会長・副会長の選出

互選により、会長に難波金一委員、副会長に今野めぐみ委員が選出された。

4. 協 議

会長 それでは協議 (1)、(2)、(3) について事務局より説明をお願いします。

(事務局説明)

会長 事務局から説明がありました。皆様からの質問、意見を頂きたいと思いますので、ご発言をお願いします。

委員 朝日地域の地域振興施策の全体像(案)について、自主防災活動の育成支援とあるが、先日、集落の消火栓ボックスが使えない状況にあった。今あるものも生かした支援をしてもらわないと、新しいものばかりに取り組んでもそれを支える人が少なくなっているのでは、その辺りを考えて取組んでもらいたい。また、デジタル技術のモデル活用について人材育成とは具体的にどのような内容か。

総務企画課長 自主防災の消火栓ボックスの件、総合計画案では資料2-3の具体的な施策として記載し、考え方をお示したものであることをご理解いただきたい。実際の事業運用に関しては、例えば未来事業計画に基づく未来事業としてお示しすることとしている。地域デジタル人材の育成も、総合計画案の具体的な施策として記載しており、今年度から取組むが、職員が覚えるというよりも、地域住民の中から人材を育成していきたいと考えている。具体的取組については、さらにこの下の階層へ位置付け進めていくもので、まずはこのような構想を持ち、今後の取組む必要のある事業をこちらでお示ししているというイメージをご理解いただきたい。

委員 施策に育成、支援、推進という言葉が沢山あり、具体的な取組が分からない感じがする。主な施策に色々書いてあり、内容について担当者は進捗状況が分かっていると思うが、資料の説明を聞いた中では具体的な取組み内容が分かりづらい。ここで全て説明していただくことは無理だと思うので、疑問点をお聞きしたい。ぼんぼについて、風呂だけの展開ではお客様は来ないと思う。他では食事を出したりトレーニングができたり、時間を使える施設があったりと、複合的な付加価値を付けることで集客している例がある。初期投資が必要になるが、そのような取組みをしないとリピーターが増えていかない。このことは観光のすべてに言えることだと思う。キャンプ場であればテントや道具を準備してくる人はほとんどおらず、色々買い揃えてキャンプする人もいるが、何も持たずに来てもらえれば楽しめるといったように道具を準備して人を呼ぶ工夫をしている。お金はかかるが、そのような施策をやっつけないと人は呼べない気がする。計画については、後で見せてもらい、分

からないことを個別にお聞きしたい。

委員

鶴岡市全体でも人口が減少して少子高齢化が進み、同じ減少率であっても朝日に当てはめると人口がだいぶ少なくなる。①いつも思うことだが、市全体の計画として統一した考え方であることはよく分かるが、朝日や温海とか特殊な地域では、特性に応じた施策を具体的にやっていかないと、資料のあらゆる所に地域に住み慣れた地域で楽しく生涯を終えるようにとあるが、そうはいかないと思う。庁舎で携わる職員の方々も大変苦勞していると思うが、地域の実情を発信していくことも大事で、本所の地域振興課でも地域をどのように捉えているか、採算だけでなく、その結果をどう判断して本来の目的に近づけていくか、地域性をきちんと入れた形をぜひ取っていただきたい。これから5年間はまだ激しい変化があると思う。朝日の場合は、6市町村が合併して良い面も悪い面も様々あるが、例えばコミセン化の問題にしても、地域の意見を取り入れたという立派な考え方があるが、いろいろな問題が起きている。コミセン化も他地域に先行して行っている。かたくり温泉の廃止も、公共交通の廃止も同じ。体協の合併も他町村がする前に先行して行われた経過がある。従って、朝日の人たちは物静かであり意見を言わないといえそれまでだが、やっぱり弱いところとして、地域の弱体化や採算、地域環境などの部分に最初にメスを入れられた経過がある。これから産直の問題もある。これらの地域の実情を本所の方からもきちんと理解していただきたい。そして、庁舎からも本所に対して地域事情を訴えて欲しいことをお願いしたい。②デジタル化で先ほど質問があったが、全市計画と朝日の計画のあらゆる所に出てきている。確かにそのような時代だが、具体的な中身が分からない。③朝日庁舎の建設について、モデル的な山村にふさわしい建物だと聞いているが、例えば過疎地域の振興策の拠点とすると以前から聞いていたが、そのことが計画に見えない。その辺りはどうなっているのか。④今に始まったことではないが、朝日から転出した方々がたくさんいるが、転出の主な理由は個人それぞれ違うと思うが、どのような大方の分析をしているのか。ここにどどまって豊かな生活をしていくには、その対策を立てていかなければならないので、ぜひ検討いただきたい。⑤資料2 地域振興施策の全体像にある具体的な施策で、地域課題解決に向けて主体的に取り組む地域団体や若者組織等の育成とあるが、主体的に取り組まない団体はどうなるのか。言葉は良いが、今はそれを超えている段階で、行政でどのように呼び水をして、地域に働きかけるかが大事だと思う。特に過疎地の場合は、何事もあなた方主体でやれば応援するということから抜け出さないと。保育園についても職場が鶴岡市街にある人は朝早くに出勤する場合に早い時間では預けられない、帰りが遅くなる場合でも遅い時間まで預けられない。細かな部分まで面倒をみていかないと朝日には住んでいられない。

総務企画課長
会長

皆さんのご意見を伺いながら、少しずつお答えしてもよろしいでしょうか。
分かりました。では、そのようにお願いします。

総務企画課長

委員のご発言についてのお答えにはならないかもしれないが、考え方を説明させていただく。デジタルや中山間地域の司令塔などについて、総合計画の中では基本的に組織や機能のあり方については特段触れていない部分が多い。全市的な施策の取組として1章から7章まで整理をしている。この分類をどの所管課がやるかという

部分は、7章の地域の振興以外は横断的な取組みをしているものが多くある。参考資料1にある「⑤総合的なデジタル化戦略の推進」について、朝日庁舎固有の取組みを上げたものもあるが、企画部のデジタル化戦略推進室が中心となり、情報企画課などの関係部署が集まる形で横断連携チームを組織して取組んでいる状況にある。朝日地域の計画においては、今後5年間の目標としてモデル的な活用を検討していきたいと考えており、総合計画にある全市のデジタル化の取組みとして「⑤総合的なデジタル化戦略の推進」の一翼を担う部分で、朝日庁舎が取組んでいくという整理をさせていただいている。先ほど委員からお話がありましたとおり、具体的な施策が見えないということについて、今後5年間の事業等に取り組む上での方向性をお示ししているもので、皆様からのご提案やご意見等を伺いながら、こんな視点が漏れているのではないかと、このような形で取組んでいくべきではないかなど、項目に追加する形で整理ができればと思っている。全市的な課題もあり、委員がおっしゃるとおり朝日地域固有の課題もあるかと思う。これらを整理しながら、後期基本計画の見直しや地域振興計画を策定していきたいと考えている。このような視点で皆様のご意見を承らせていただく。

④定住・移住について、これまで要因について調査を行ったことは、私の記憶ではない。市の施策としてご存じかもしれないが、費用負担の軽減策として均衡を図る上で、高校生通学費支援の補助制度として地域まちづくり未来事業の実施当初から始めている。取組みとしては数少ないものとなるが、地域格差是正の取組みについては、朝日地域や同条件の温海地域なども同様に取り組んでいるものもある。今回、視点として変えるべきもの、不足しているものについて、今回の総合計画や地域振興計画の中で加えながら、今後の施策を決定する上で、体系づけたものの仕組みづくりをしていきたい。非常に分かりにくい資料で申し訳ないが、このようなことで今回提案させていただいている。

市民福祉課長

委員から頂いたぼんぼへのご意見について、次の(4)朝日庁舎の主要事業の中で、かたくり温泉再開に向けた取組みをご説明させていただく。

委員

説明いただいた資料と新総合計画、地域振興計画の体系について、非常に見やすく分かりやすかった。抜けている項目はまずないと思うが分からない部分もある。地域を支える人材確保・育成について、私の同級性とか私より下の世代がどんどん朝日地域から離れているなとすごく感じているし、保育園や小学校に子どもがいる人たちも、子どもが生まれてから朝日地域を離れるケースが非常に多くあると感じている。やっぱり朝日地域に残りたい、ここで生きていきたいと思える地域にしたいし、何か住民から力を貸して欲しいとか、色々具体的な計画が今後あると思うので、そのような時はどんどん声をかけてもらえれば、力を貸していきたい。

委員

これまで何年かやってきた内容を踏まえて、これからまた新たな方向性という形で提示されてくると思っている。内容の細かい所まで、私もあまり言うことはないかと思うが、特に国会でもそうだが、デジタル技術とか担い手の育成とあるが、実際に朝日地域には若い人が少ない。そのデジタル技術を高齢者へどうやって広めていくか、その辺も含めて検討していく必要があると思っている。担い手として若い人がいないとなると中間世代がなるかと思うが、その中でも、若い人を何とか残すよ

うな形の施策を考えていただければと思う。例えば、計画だけが大きすぎて実際やってみたらこうなった、ということもあるかもしれないが、やってみるしかないと思っている。消防団については、参考資料2暮らしと防災(3)-エに消防団の組織の充実・強化ということで、市全体で団員の減少に伴って班の統合を現在進めている。朝日方面隊においても、昨年末までに、第二分団の大針と第三分団の田麦俣・大網・上名川・下名川については、自治会の了承をいただいて来年4月から統合した班で進めていく。また、他の分団でも班統合について自治会との協議に入っている。今まであったものがなくなるということで、自治会の方からは反対等の意見もあるが、現状、団員の減少に伴って運営が出来ない状況になっているので、ご理解とご協力をお願いしたいと思っている。

委員

地域を支える人材の確保育成に関連して、自分の娘も高校生になり地元を離れたが、ジュニアキャンプがあると帰って来て必ず行きたいと言っているように、これまで、地元を愛する気持ちを持てる活動をしていただいたと実感している。自分の周りに同世代や同級生がいなくなったが、自分の子供はここに帰ってきて、生活してくれるようになるには、その先も朝日に愛着を持って戻ってきてくれる魅力をどのようにつくられるかを考えている。自分の集落も高齢化で、集落維持に向けた活動支援はどういうイメージか。隣組などの役割も高齢化で担えなくなってきて、どうやって集落を維持できるのかを考えていた。

委員

産直施設について、今回人材不足になって移転問題もあり、私も組合員の皆さんも悩んでいる。先日、食文化創造都市推進課の方から依頼され、東京で「笹巻」と「栃餅」で出張して作り方を指導してきた。午前と午後と2回指導したが、来てくれた人の中からぜひ朝日に行ってみたい、「栃餅」の里を見たい、「笹巻」を作るところを見たいと言われた。朝日に行ってみたいとのことなので、私の力ではどうにもならないし、食文化創造都市推進課に連絡して欲しいと係の方が伝えてくれた。私は「笹巻」の担当だが、鳥獣や蜂が多くなり笹の葉を採るのがすごく大変で「笹巻」は容易でなくなったと言ったところ、今度「栃餅」の人たちは、高齢化で山に栃の実を拾いに行くのも容易でなくなってきたとのことだった。東京から朝日に人を呼び、どのようなことができるだろうとすごく悩んできたが、ぜひ朝日には来てくださいと言ってきた。食文化創造都市推進課の方とは材料をどうするかと話をし、行政の方からも応援していただきたいと思っている。

委員

地域を支える人材確保育成と、農業の担い手育成の確保について、以前は農協女性部でも相当人数がいたが、生活班が女性部から離れるという状況になり、部員も40人そこそこで少ない。勧誘しても仕事があるからとか、役員をしないといけないなどの理由で女性部への加入が少なくなり、人材の確保が難しい。農業は委託が進み、若い農業者がいると聞くと嬉しい。今は若くても年を重ねることで、また新たに就農する方がいるのかとか不安も感じている。それでも、大事なことから何とかつなげていけたらと思っている。克雪対策について、雪下ろしや排雪が重労働なので支援していただくことはとてもありがたい。克雪住宅について、支援を受けた方から克雪の住宅にしてみてもうどうだったか、意見や感想の聞き取りをしているものか。例えば、落雪式屋根が良いと思っている。落雪処理をしなければならぬことが大

委員

変だと話を聞いているが、メリット・デメリットがあると思うので。その辺のところを市で把握していただいて、細やかな情報を住民に流していただけたら良い。
私は2年前まで普通の一般市民だった。立場上このような席に就いて、この計画を初めて知った。この計画は5年前から作成されて今に至っている訳だが、どれだけの住民にこの計画が周知されているのか。私は2年前まで知らなかったのに他の人たちはどこまで知っているのか疑問に思う。私は大鳥に住んでいるが、何であるように環境の良いところを出たがるのかと思っている。多分、価値観の違いだと思うが、良いところを知らないから出ていくのかなとも考えた。そのように知らないところを、皆さんに知ってもらうために情報発信するのもいいかと思う。これだけの計画をすごくワクワクして見ていた。とつても良い計画だと思うが、ちょっと具体的な所は分からないので、あと5年あるわけだが計画倒れにならないよう、ぜひ実現してもらいたいと思う。ただ、計画は立てたけれども予算がないから、少ない予算でお願いすると言われるとちょっとがっかりする。

委員

他委員からもあったが、やはり朝日地域は定住の問題が一番大きい。また、子育て支援がこの地域に合った支援になっているのかどうか、検証が必要かと思う。市の中心部と朝日は相当違う。若者の感覚からすると、通勤に相当の時間がとられる。以前、除雪の問題でもあったが基本的に除雪の計画を少し検討してみましようかという話にもなった気がする。若い人たちから聞くと、例えば奥様が福祉関係の仕事に就くと、夜勤や準夜深夜という勤務体系のなかで冬期間に朝日へ帰ってくる場合、除雪体制から深夜12時から2時・3時近くまで除雪がされていない。最近の除雪体制から、朝日に住むのが非常に心配だから、結婚したら市の中心部に住むという人たちも結構いたと聞いている。お恥ずかしいが、実際私の息子も結婚して市街に住んでいる。この間、ある調査資料で、三川町が220世帯増加、鶴岡市は約100世帯増加と、山形県の中で住みやすい市町村ということでは鶴岡市が下位にあったと記憶している。他町村の施策を十分に調査研究して、鶴岡市に足りない部分については加えて、ぜひプラスにしていって住みやすい鶴岡市・朝日地域にしていく必要があるのではないか。その部分が計画にどう反映されているのか、今回の資料を見て思った。今回の資料で、一生懸命頑張ってもらって分かりやすくしてもらったが、総合計画と朝日地域振興計画、現時点でどういう状況なのか、市がどのような評価をしているのかが分かると、我々はどう思っていますという意見交換がこの場でできたのではないかと思う。この資料を事前に渡せてはいるが、なかなか何を発言したら良いか分からない。資料が膨大なので、これから総合計画に活かして欲しいことはこういうことだと発言できるような資料づくりが必要だ。条件不利地域の朝日地域については、若者の定住・子育て支援も含めて、思い切った施策を市の総合計画で打っていただいて、それを受けて地域振興計画が作られていく方向で検討してもらえればありがたい。何回も私のところで提案してきたが、奨学金等について、やはり今の制度が作られた経過があるわけで、朝日の基金も十分活かされているので、朝日地域に帰ってくると市街地より条件の良い方向で奨学金返済の利息への支援や、克雪住宅についても朝日地域は一生懸命に頑張っているが、応募がある年とない年があり、予算の都合がつくとかつかないとか不安定な状態ということだった。2・3

年前から希望を取り、朝日の森林財産の資源を使えばもっと補助するというような形でやっていくのも大事ではないか。定住する人がいなければ、何を考えても地域の振興策が取れないので、一番大事な部分に当たるのではないか。それらを検討しながら、総合計画、地域計振興画を作成していただきたい。

会長
委員

他にございますか。

山に行くとサル・猪・熊が多くいて、山菜採りが怖くて行けないと言っている。砂川では猟友会の人たちが回っているけれども、猟友会の人たちがいない方向にサルが移動してしまう。うちの畑には電気柵を設置しているから大丈夫だが、電気柵をしてないと全く野菜は植えられない。猟友会の人たちが毎日車で回ってくるが、何の仕事してきたのかと皆さん不思議に思っている。何か対策はないのか。

会長
委員

今の件も、次の(4)で説明の中で回答をお願いしたい。他に発言ございませんか。気になったことだが、資料2の地域振興施策の全体像(案)の中で、主な施策ア①に「自主防災活動への育成支援」とあるが、「自主防災活動の育成支援」ではないか。積極的な育成支援と理解している。また、参考資料3の第2期鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略概要版を見て、卒業者の63.2%が進学に伴って県外転出していて、その中でも女性がさらに多い。今、JIUターンを大分進めてはいるが一旦就職した人を戻すのは大変だ。新卒が就職できるような環境づくりは何ができるのか。PRは様々な形でやっているが、新卒で地元で就職してもらえる手だては何が不足しているのか。市全体で63%であっても朝日地域はもっと率が高いと思う。帰ってこないと思う。同じ鶴岡市であっても地域によって違うということも、朝日地域の施策の中で考えていく必要があるのではないか。女性の県外転出が多いのは理解できないが、理由や分析したデータがあれば教えていただきたい。

政策企画課政策企画専門員

委員より新卒の人をまず鶴岡に戻さないというようなご意見をいただいたが、政策企画課で行っている施策として、昨年度から現役の大学生を対象に、鶴岡の様々な企業や施設を紹介する「つるおか未来カフェ」という取り組みをしている。昨年度は、鶴岡から離れている鶴岡出身の学生の交通費も全部、鶴岡市の方で負担してこちらの方に来てもらい、実際鶴岡で働いている先輩方の声を聞いたり、施設を見学したりということを行っていただいて、鶴岡で就職しようかなという機運を高めてもらう取り組みを昨年度試行的にさせていただいた。また今年も夏に行う予定だが、地元出身の学生ではあるが、こういった企業が鶴岡の方にあるのは知らなかったとか、鶴岡にこういう施設があるのを知らなかったというところで、一つ鶴岡に戻ってくる選択肢が増えたというようなご意見も頂戴した。この取組をどんどん行って、ぜひ大学・専門学校卒業すると同時に戻ってくるような機運の調整を引き続き図っていきたいと考えている。取り組みの紹介をさせていただいた。

委員

私は、例として中学生の段階から地域の産業を知ってもらうとか、高校生も含めてだがそのようなPRが必要ではないかと思う。鶴岡には高校生や中学校のそれぞれの組織があり、そこへの働きかけが必要ではないかと思う。

総務企画課長

資料2の2ページの主な施策の①について、ご指摘のとおり「自主防災活動の育成支援」に文言を修正し、3ページ以降も修正させていただく。

会長

協議(4)について事務局より説明をお願いします。

(事務局説明)

- 会長 事務局から説明がありましたので、皆様から質問、意見を頂きたいと思います。発言される方は挙手をお願いします。
- 委員 ぼんぼの料金設定について、温泉大好きで行きたいのだけれども、大人450円だと大人2人で千円とか子どもを連れていっても千円とか、行きたいけど行けないような状況。内陸の方だともう少し料金が安い、料金が安くなることはないのか。
- 市民福祉課長 今回のトライアル事業に取り組む事業者を募集した段階で提案を受けた事業計画による料金設定が大人450円、子ども200円となっている。資料にもあるとおり、子どもは20円安くなっており、入湯税75円を含んだ料金である。こみっとAFCさんの収支計画もあり、この金額で3ヶ月は行いたいということで説明いただいているので、まずはこの金額で進めると思う。このようなご意見をいただいたことを、こみっとAFCへお伝えする。
- 会長 他にございませんか。
- 委員 デジタル化について、先ほど委員からもサル被害をはじめ鳥獣被害問題についてご意見があったが、デジタル化でサルの情報などを地域に共有する試験的な取り組みが行われたと聞いている。そのことについて、現在どのようになっているのか。
- 総務企画課長 鳥獣被害対策におけるデジタル活用として、現状はサルに発信機を付けて追いかける取り組みを行っているが、昨年度に鶴岡高専の協力を得て、AIカメラを活用して動体検知で動いているものを認識し、動いているものがサルどうかを識別する試験研究を行った。一定の認識により、サルかどうかを認識できるというところまで試験研究を行った。将来的な構想の中では、サルをカメラで感知することで、その警報を巡視員や地元の方にいち早く流し、そこから情報を伝えることでサルの追払いが早くできるという仕組みを検討していきたいと考えている。朝日地域をモデルにしてこれらの技術の開発の実証実験を行っているので、今後本格的な実施に向けて検討していきたい。
- 会長 他にございませんか。
- 委員 デジタル化について、どなたかご意見されていたが、高齢者が主にデジタルを使うようになるので、デジタル機器が使えるように今からパソコンやスマートフォンの使い方の講習会を行っていくことが必要だと思う。行っている事業主体に対しても支援することも当然必要になってくると思うが、その辺はどのように考えているか。
- 総務企画課長 デジタル化に関しては、いろんなアプローチや方法があると思うが、一つは市民向けの行政サービスへのデジタル化の活用について、先ほど支所長が紹介しました、南出張所と朝日庁舎をつなぐ取り組みについては、手元の申請書をどのように書いたらいいか、画面を通してやり取りするもので、デジタル技術が直接サービス向上というよりも利便性を高めるため、誰でも、どこでも、いつでも見られるような仕組みづくりをしている。行政サービス向けの話ではLINEの話もあり、今全市で検討している“書かない窓口”とかの支援がある。一方で、ご自分が持っているスマートフォンやパソコンが使えない方はどうするかという課題に対しては、昨年度

あたりから民間事業者によるスマホ教室が様々な所で開催されているが、もっと身近な方がデジタルを教えられる仕組みができないかを検討したところ。主に若者と
 言わずに、地元の方が近くにいる、聞ける人を確保していきたいという考え方のもとに、今年度新規事業でコミセンを中心に説明のできる方や分かる方を育成していきたい。やっぱり一番肝心なところは、使わないと結局使えないという話は変わらず、いくらでも多くの人から分かる人になってもらい、その人が伝えられる仕組みを
 委員 考えていきたい。具体的に進んでいない部分もあるが、今後検討していきたい。このような会議でも、事前に資料を配布してもらっていたが、そういう意味ではありがたいのだが、資料を紙ではなく動画とかで提供してもらい、それを基に当日説明を受け
 総務企画課長 ないで皆で自由討論という形にすれば、もっと意見も出て、会議時間も短縮できると思う。将来的にはそういうスタイルで会議ができるとありがたい。行財政改革推進委員会では、事前のテーマを各専門の担当者がユーチューブで配信して、それを見ていただいた上で意見をいただくという仕組みで行っている。現状では、そこまで朝日庁舎で追いついていない状況にあるが、今後検討していきたい。

会長 他にございますか。

委員 10年前に計画を立て、目標が10年後というが、十年一昔の話をしているので全く遅れている。そうしているうちに子供が離れていく、お母さんが離れていく、そんな流ちょうに、のん気なことをしているよりも、単純にこのお金をこっちに使って一人でも二人でも転出を止めるような施策を作った方が早いと思う。朝日では10年かけている間
 総務企画課長 にかなり差が出ると思う。それをもっと身近に感じてもらわないと駄目だ。私の従業員も8時まで保育園に子どもを届けなければならず遅刻している。見た目は良くないが、そういう現状があるので、そのあたりをもっと早く手を打たないと何も意味がない。職員が一生懸命やってもらっているのは分かるが、我々はピンとこない。皆が良くしようという考えは分かるし、これはいいなと思うが具体性がないと話が出来ない。例でもいいので具体的な話が出されれば、こうしたらいいのではないかという話になる。私はパソコンでも資料を見慣れていて日本全国の会議をリモートで行っていて意見がたくさん出るので。そのような環境の方が、逆にデジタル化よりやりやすいのではないか。持っていない人にはパソコンを1台預けるとか、その方が資料も見やすい。紙をめくっていきくと分からなくなる。

会長 今回の計画そのものが5年後を目標とした計画で、具体的にまだ見えないところも確かにある。総合計画という位置づけのなかで、将来にわたる具体的な事業を検討する上で、課題や目標を定める必要があることから、今回委員の皆さんにご意見を伺ったことをご理解いただきたい。この地域振興懇談会の中で地域振興の方向性をお示ししている内容について、具体的な取組みについては、先ほど支所長が説明した地域まちづくり未来事業や朝日地域の主要事業などにより計画の具現化を進めていく。今回は、総花的で具体的に何をやっているか分からないというのは確かにそのとおりだが、こういった将来ビジョンなり方向性を指し示した上で、今年度はどのようなことに取組むかということ、皆さんと検討していきたいと考えていることを補足させていただく。

会長 他にありますか。

委員 新しい庁舎の屋根は自然落下方式か。落雪は膨大な量になると思うが、下は融雪装置があるのか。

総務企画課長 排雪で処理する予定で、駐車場が排雪場所になる。

委員 雪が半端な量ではない。例えば、雪国に合った克雪対策としてこの屋根を選んだのか。前から言っていたが実際のところ大変だと思う。

会長 他にございませんか

その他 なし

5. その他

総務企画課長 他に皆さまから何かございますか。
無ければ閉会のご挨拶を難波会長にお願いしたいと思います。

会長 皆様お疲れ様でした。これを持ちまして、朝日地域振興懇談会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

(終了 15時50分)